



令和4年(2022年)第48週 2022年11月28日(月)~2022年12月4日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザに注意しましょう

感染症発生動向調査で、熊本市の第48週(11月28日~12月4日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、0.6人(定点数25ヶ所、患者報告数15人)となり、流行開始の目安である1.00人にはまだ届いていませんが、学級閉鎖の報告もあっており流行の兆しが見られます。引き続き感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザの症状について

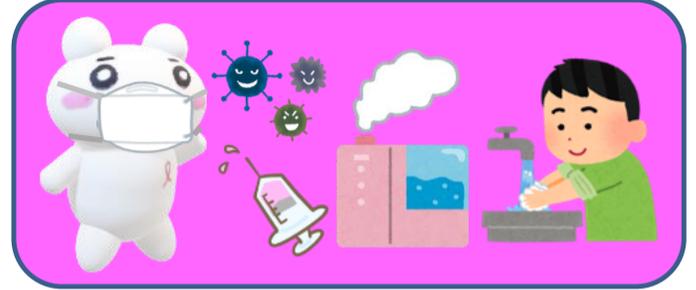
典型的なインフルエンザの症状は、インフルエンザウイルスに感染してから1~3日ほどで、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然あらわれた後、咳、鼻水などの上気道炎症状があらわれ、約1週間ほどで軽快します。

◆感染対策は？

- ①流行前のワクチン接種
- ②外出後の手洗い等
- ③適度な湿度の保持
- ④栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ⑤人混みや繁華街への外出を控える

【登校について】

・学校保健安全法における取り扱いでは、原則として、発症したあと5日経過し、かつ解熱したあと2日(幼児は3日)を経過するまで出席停止とされています。(ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。)



飛沫感染対策としての咳エチケットを心掛けましょう

・患者の咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴(飛沫)を吸い込むことによる飛沫感染が主な感染経路です。飛沫対策でインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。普段から咳エチケットを心がけましょう。
 ○咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクの着用を徹底しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
 ○鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
 特に感染者がマスク等の感染対策を行うことが重要です。※マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。
 厚生労働省「令和4年度 今冬のインフルエンザ総合対策について」より引用

期 間		2022年 47週		2022年 48週	
		11/21~11/27		11/28~12/4(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	4	0.16	15	0.60
RSウイルス感染症	→	14	0.88	15	0.94
咽頭結膜熱(プール熱)	→	3	0.19	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2	0.13	2	0.13
感染性胃腸炎	↑	88	5.50	93	5.81
水痘(みずぼうそう)	→	3	0.19	2	0.13
手足口病	→	18	1.13	11	0.69
伝染性紅斑(りんご病)	→	2	0.13	0	0.00
突発性発しん	↑	2	0.13	9	0.56
ヘルパンギーナ	↑	8	0.50	11	0.69
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	1	0.20	1	0.20
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00